

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10622001				
授業名	アジアの文化と暮らし B	形態	講義	単位	2
担当教員	ト 雁				
開講学期	2017年度 後学期	曜日・時限	木曜2限		
授業目的	アジアの様々な文化の理解を深めると同時に、自己認識と世界観の拡充を目指し、問題解決型人材育成に結びつけた知識を身に付ける。				
授業内容	知られているようで意外と知られていないアジア人の暮らしを東アジアを中心にごく身近な衣食住から概説し、その上で、日本とアジア諸国の文化の共通点や差異などを考察することにより、アジアの一員として自分たちがこれからどのように他国や他国人と交流を深めていけば良いかなどを検討する。				
到達目標	アジア人の信仰するものと生活行動様式との関係を考察でき、理解が深まる。 東アジアを中心として現代アジアの社会・文化・歴史に関する基礎的な知識を習得し、アジア共同体の一員としての見識を深める。 多文化共生社会における多様な他者と創造的関係の築きに関して考える力がつく。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的に講義形式で板書の代わりにパワーポイントを使用し、また資料やビデオにより進めるが、課題内容に応じてグループ作業による宿題完成や討論とクラスで意見発表の形を取り入れ、アクティブラーニングを目指す。テーマに応じ、学内外の専門家による講義を取り入れながら、活発な学生意見参加型、双方向型の授業形式を重視する。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各回授業に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。合計15回の授業で、事前学習合計30時間、事後学習合計30時間となる。				
テキスト	授業中随時資料配布。				
評価方法	授業討論参加と課題完成及び授業内試験により総合的に評価する。				
評価基準	授業討論参加30点、課題完成（事前事後学習）30点、試験40点 ～59点：不可、60点～69点：C（合格）、70点～79点：B（合格）、80～89点：A（合格）、90～100点：S（合格）				
試験・レポート等のフィードバック	レポートやグループ討論結果に関する授業中発表と評価、また、S-Navi「クラスプロファイル」を通して成績を反映させる。				
注意事項及び履修条件	大学規定の通り、出席回数は全授業の3分の2以上がなければならない。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	ニュース等でアジアの動向をチェックする。また、履修に向けての心構えとして学生心得を読んでおく。				
授業内容	授業の進め方と全授業の見通しの説明、また履修者が臨むべき姿勢に関するガイダンス。 それぞれアジアの何に関して興味を持つかを考える。学習グループを編成し、配布資料の課題をやる。				
事後学習	授業中に指示した課題についてグループでレポート作成。A4用紙1枚に整理する。				
参考文献	『東アジア史入門』 布目潮風・山田信夫編 法律文化社 1975 『東アジアの中の日本』 東アジア共生研究会 富山大学出版会 2008				
第2回					
事前学習	前回授業のノート内容をまとめ、グループ宿題をやる。				
授業内容	東アジアの家族と女性。東アジアにおける男女の社会的関係の形成と家族観念及び近現代におけるその態様について理解する。配布資料に対する理解をグループ内でまとめ、レポートを提出する。				
事後学習	授業で配布された資料を熟読し、概要をまとめる。				
参考文献	『東アジアの中の日本』 東アジア共生研究会 富山大学出版会 2008 『総合的学習に役立つ世界の家族』 今西大訳 鈴木出版 2000				
第3回					
事前学習	グループ毎に貸し出した漫画を読み、概要と感想をまとめ、クラスで発表できるようにする。				
授業内容	インド人の生活スタイルと文化。インド文化と暮らしの一部をストーリー閲読より理解し、グループ内で意見交換をした内容を代表者が口頭で発表して、クラスで意見交換をする。グループレポートを提出する。				

事後学習	授業で配布された資料を熟読し、朝鮮半島の歴史と文化を調べ、知っていることをメモする。
参考文献	『インド夫婦茶碗』 流水りんこ著 ぶんか社 2002
第4回	
事前学習	韓国人の生活について知っていることをメモしておく。
授業内容	朝鮮半島の歴史と文化。朝鮮半島の民族歴史と政治、人々の生活スタイルと文化に関しての概況理解をする。
事後学習	テレビや新聞で報道された韓国、朝鮮の経済や民生に関する感心話題を記録して、メモしておく。
参考文献	『国際理解に役立つ世界の衣食住 1 東アジアの食べもの』 久保田陽子 小峰書店 2001
第5回	
事前学習	中医学→漢方について調べ、理解したことをメモする。
授業内容	アジア伝統医学と健康① ゲストスピーカーの中医学専門家汪先恩先生講義：数千年前から中国に発生し、アジアを中心に発展してきた中医学の中心思想と内容の概説及び現代人に適す養生法の紹介。(90分授業の一部担当)
事後学習	講義内容を復習し、メモを整理してリアクションペーパーにまとめる。
参考文献	『図説中医学概念-中西医結合の視点から』 汪先恩 山吹書店 2004
第6回	
事前学習	中医学と薬膳について知っていることをまとめ、リアクションペーパーによる宿題提出を準備する。
授業内容	アジア伝統医学と健康② ゲストスピーカーの中医学専門家辰巳洋先生講義：介護や看護、また、日常の健康維持にも必要な食事療法と薬膳を中医薬学をベースに解説し、簡単な取り入れ方法を紹介する。(90分授業の一部担当)
事後学習	講義で習ったことをヒントに、日常で実践できる薬膳や健康法について調べ、実施計画をし、報告に備える。
参考文献	『中医薬膳学』 辰巳洋 東洋学術出版社 2008 『薬膳の基本』 辰巳洋 緑書房 2008 『実用中医学』 辰巳洋 源草社 2009
第7回	
事前学習	中国に関するニュースや記事などを調べ、気になるものをメモする。
授業内容	中国近世芸術から見る日本に対する文化影響及び中国伝統生活様式と中国料理。グループ学習をし、グループ毎それぞれ集めた材料をまとめディスカッションをする。
事後学習	今まで課題とされたことを振り返り、グループでレポートを作成する。
参考文献	『グルメの中国語』 遠藤紹徳 国書刊行会 1987 『国際理解に役立つ世界の衣食住』 久保田陽子 小峰書店 2001 『世界の食文化②中国』 周達生 濃山漁村文化協会 2004
第8回	
事前学習	中央アジアについて知っていることをメモし、リアクションペーパーによる宿題提出を準備する。
授業内容	課題内容に関するクラス討論。宿題提出。 ①中央アジアの地域と社会と文化。中央アジアの歴史概況を学習し、それぞれの宗教伝達、現代の諸国家の成立などの背景と現代、独自の生活スタイルを理解する。②中国の少数民族。
事後学習	配布された資料をよく読み、関係知識を把握しておく。
参考文献	『中央アジアを知るための60章』 宇山智彦編著 明石書店 2003 『国際理解に役立つ世界の衣食住』 9「アジアの民族衣装」久保田陽子 小峰書店 2001
第9回	
事前学習	モンゴルについて調べ、知っていることをメモする。
授業内容	ゲストスピーカーの馬頭琴奏者セーンジア先生講義：モンゴルの文化と人々の暮らし。モンゴルの帝国からの変化と現在、及びモンゴル民族の文化と生活の一部学習を通し色々な民族文化の存在を理解する。(90分授業の一部担当)
事後学習	配布資料と参考資料をよく読み、授業ノートを正確に整理する。
参考文献	『モンゴルの歴史』 宮脇淳子著 刀水書房 2002
第10回	
事前学習	東アジアの世界遺産に関して知っていることをリストアップし、関心のあるアジアの宗教関係の世界遺産をピックアップして、グループでA4用紙1枚にまとめる。
授業内容	アジア地域の世界遺産。アジア世界遺産の多い国(トップ3)を紹介し、アジア文化の豊かさを理解する。 アジアの宗教関係の世界遺産に関して、調べたことを発表し、グループレポートを提出する。

	アジアの神々。アジア各地における民間信仰、例えば仏教、イスラム教、儒教、道教、土俗信仰、媽祖などの捉えかたを考える。
事後学習	配布資料と参考資料をよく読み、授業ノートを整理する。
参考文献	『国際理解に役立つ世界の衣食住』9「アジアの民族衣装」久保田陽子 小峰書店 2001 『世界遺産（ポブラディア情報館）』稲葉信子・斎藤英俊監修 ポプラ社 2007

第11回	
事前学習	東南アジアに関するニュースや記事などを調べる。
授業内容	東南アジアの仏教文化。学内研究者による講義：上座部仏教信奉の国々の福祉及び人々の暮らし。
事後学習	メディア等で得た情報を含めて、アジア区域の主要宗教について調べたのをまとめる。
参考文献	『国際関係がよくわかる宗教の本4 アジアと仏教』池上彰著 岩崎書店 2006

第12回	
事前学習	仏教について知っていることをまとめ、授業発表に備える。
授業内容	アジアと仏教。南アジアから東南アジア、東アジアに広まり、日本にも信者がたくさんいる仏教の生まれ、伝わり、ブッダの教えと大乘仏教と上座部仏教に関する概説をする。（90分授業の一部担当）
事後学習	授業ノートを正確に整理する。配布資料を読み、予習しておく。
参考文献	『国際関係がよくわかる宗教の本4 アジアと仏教』池上彰著 岩崎書店 2006

第13回	
事前学習	大乘仏教に関する知識をまとめて、メモする。
授業内容	学外講師-大巖寺副住職長谷川先生による講義：仏教の教え。淑徳大学の福祉スピリットの源流をさかのぼり、仏教-釈迦の教え-の原点に触れる。同時に、自らの生き方や心構えに仏教の教えを取り入れるべく、考える機会を持つ。（90分授業の一部担当）
事後学習	アジアの宗教信仰と日本人の宗教に対する考え方について、自分が思っていることをノートに整理し、授業ノート提出の準備をする。
参考文献	『国際関係がよくわかる宗教の本4 アジアと仏教』池上彰著 岩崎書店 2006 『近世の念仏聖無能と民衆』長谷川 匡俊著 吉川弘文館 2003 『心の道しるべ』長谷川俊哉著 ネオテリック 2014

第14回	
事前学習	儒教に関する知識をリストアップする。
授業内容	『論語』の講読。東アジア漢字文化圏共通の古典『論語』の講読を通じ、我々の思想と価値観の基本になるものを振り返り、『論語』に書き記されていることは、現代人の心を捉えることを理解する。
事後学習	『論語』を読み、自己認識と世界観の拡充に関し、また、異文化交流を志すには自分の中にある普遍性と独自性を見つめ直すことがあるかを考えてノートにまとめておく。
参考文献	『国際理解ハンドブック「中国と出会おう」』 国土社 2002 『わかる・使える はじめての論語—超要点解説とキーワードで』福田晃市 ソフトバンククリエイティブ 2005

第15回	
事前学習	アジアに関するニュースや記事などを調べる。アジアに影響を及ぼしている日本文化の事例や知識をリストアップする。全授業のノートと資料をまとめ、復習する。
授業内容	アジアを席卷した日本のアニメと漫画文化。日本のアニメがアジアで広く読まれ、鑑賞されている状況を討論し、理解する。
事後学習	アジアにある日本と日本文化、また果たす役割について、考えていること整理しておく。
参考文献	http://homepage3.nifty.com/bunmao/lg12.htm 「中国の日本漫画」

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--

